

搾りたてを自宅で味わう 物産センターでオリーブオイル販売

さくらの湯観光物産センターで(有)穂高村のHIME-LIAブランドオリーブオイルの量り売り販売が始まりました。市内の工場加工された搾りたてのオリーブオイルを味わえます。代表の坂和照子さんは「搾りたてのオリーブオイルは飲むことができるほど癖がなく、どんな食材にも合います。ぜひ一度ご賞味ください」と話しました。



海と船の仕事を学ぶ ジュニア体験塾「弓削遠征」

7月29日、市内の中学生向け講座「ジュニア体験塾」で上島町の国立弓削商船高等専門学校で体験研修が行われました。プログラミング授業や練習船「弓削丸」の見学など『ものづくり』と『ものはこび』をテーマに実践的な技術者の育成に力を入れた高専の魅力が丁寧に説明され、参加した22人の受講生は熱心に耳を傾けていました。



いつもと少し違う 夜のほっちょ市を開催

さくらの湯観光物産センターでほっちょ市が開催されました。今回は夜の開催。お馴染みのほっちょ市は夜の開催とあって、いつもと違うお祭り気分を味わうことができました。子どもたちは、学校

外で会う友達との交流を楽しみました。来場者は浴衣や甚平などに身を包み、唐揚げやフライドポテト、ジュースなどに舌鼓を打ちました。

次回のほっちょ市は11月開催予定です。



Interview



川内中学校 3年生

北岡 千依 さん

今までは安全に逃げることを考えていましたが、これからは消火や救助に参加するかもしれないと意識できました。消火器訓練や瓦礫の撤去の訓練などで得た知識は今後役立てていきたいです。



自分のことは自分で守る 川内中学校でサマー防災デー

川内中学校で3年ぶりに開催されたサマー防災デー。自分の身は自分で、地域のことは地域で守ることができるよう、学年ごとにさまざまなブースで防災の基礎を学びました。心肺蘇生法のブースでは女性

消防団員から一人ずつ蘇生法を実践。参加した生徒は「見ているよりも力が必要で大変だった」と話しました。他にもロープワーク、消火器の使い方、身近な物を使った応急措置などを学びました。

滑川のよさを皆さんに 滑川渓谷こどもガイド養成講座

子どもたちが滑川渓谷をガイドする滑川渓谷こどもガイド養成講座（主催：滑川秘密基地こどもベース事務局）が開かれました。取材日はみんなの公共交通を考える会の皆さんを招いてリハーサル。実際にコースを歩き、注意するポイントなどを確かめました。参加者は「説明が上手になってきたので本番では頑張してほしい」と話しました。



小学校からの集大成を飾る 澤井瑞稀さんがテニス四国ベスト8

松山中央高校3年生の澤井瑞稀さん（牛淵）が四国ジュニアテニス選手権大会でベスト8を受賞しました。小学生からテニスを始め、途中で大きな怪我を経験しながら獲得したベスト8。「最後に結果を出せて良かった」と話します。テニスは引退するそうですが、澤井さんはこれからも未来へ歩き続けます。

真夏の冷たい体験 佐古ダムでボート教室を開催

7月31日、下林の佐古ダムで子どもボート教室が開催され、18人の小中学生が参加しました。ボート教室は3年ぶりの開催。オリンピック出場経験のある武田大作さんから教えてもらうダムの上でのボート体験は、子どもたちにとって夏休みの思い出の1ページとなりました。

来年も多くの人の参加をお待ちしています。



花の魅力を最大限に活かす 紫陽花でリース作り

大野壽美江さん(北野田)は、白猪の滝公園の花菖蒲園での花摘みで採れた紫陽花をドライフラワーにして玄関に飾っています。趣味で普段からドライフラワーでリースなどを作っているそうです。大野さんは「綺麗な花だったのでよく色が出ました。今年初めて参加したのですが、また来年もあればぜひ参加させてもらいたい」と話しました。



夏のわんぱく広場 NAMEGAWA SUMMER

8月4日、滑川野外活動研修施設なめがわ清流の森で「NAMEGAWA SUMMER」が開催され、市内の小学4年生から6年生44人が参加しました。

滑川で魚が捕れたことを喜

び合ったり、水を掛け合って川遊びを楽しみました。滑川散策やスイカ割り、ALTとのレクリエーション、カレー作りやキャンプファイヤーなど、たくさんの経験が夏の思い出となりました。



負けられない戦いがここにある よしいのこども館でウォーターガン

よしいのこども館で夏休み中の小学生がウォーターガンで遊びました。中には自分の家から水鉄砲を持参する子どももあり、この日を待ち望んでいたようです。最初は100個の水風船を投げ合って遊び

ましたが、あっという間になくなるほど盛り上がりました。水鉄砲は友達と作戦を練りながら夢中になって遊びました。TEAMよしいのの皆さんが準備や片付けを行い、最後まで充実した活動になりました。

地元の季節の野菜や花を 夏の野菜や花きなど出荷ピークに

8月、さくらの湯観光物産センターで夏野菜の出荷がピークを迎えました。センターには出荷者の皆さんが丹精込めて作った新鮮な野菜や花き、果物が陳列。毎日出荷する石原榮子さんは「8月はツルムラサキやダリア、ハナトラノオなどを出荷しました。野菜や花きを購入した人が、言葉を掛けてくれることがありがたいです」と話しました。



参加率市内イチ。人気の体操 田窪集会所で自主体操

田窪集会所で、毎週火曜日と金曜日に自主体操をしています。参加しているのは田窪の老人会のぎずな会の皆さん。参加者の多くが80歳以上の人たちで、中には90歳を超える人もいます。参加者は「自主体操に来ることが健康でいられます。田窪地区は自主体操の参加者が多く、盛り上がっています」と笑顔で話しました。